

個人投資家

七転び 八起き

今の時代に安全・安心を追うのは、ばか
げている



カルロスさん (50歳、仮名)
海外旅行と海外投資が好きな
「旅人系投資家」。行き先は最
近、欧州からアジアへシフト。

分配金重視で投資 早期リタイアへ

■1998年～

97年に山一証券が破綻。副収入がないと厳しい時代になると感じ投資を始める。まずは証券会社に薦められ小型株ファンドと米ドル建てMMF（マネー・マーケット・ファンド）を購入。小型株ファンドは特にもうけが出た。

■99年～

日本人の海外投資を後押しするインターネットのサイトを知り、興味を持つ。2001年には米国の証券会社に口座を開き、クアルコム株などへの投資を始めた。米同時多発テロの後で底値だと判断したが、直後に米エネルギー会社エノロンが

破綻。保有株が急落し、含み損を抱えてしまう。

■2003年～

ブラジルの銀行などの米預託証券（ADR）にも投資を始める。さらにHSBC香港に口座を開設して、中国石油天然気（ペトロチャイナ）株なども購入。新興国経済の成長の波に乗り、海外株投資がようやく軌道に乗る。

■09年～

リーマン・ショック後に急落していた米ラスベガス・サンズ株を5ドルで大量購入。カジノを運営している点に着目したが、その後に株価が1ドル台まで下がり青

ざめる。結局は50ドル台での売却に成功する。

■12年～

証券会社の薦めで毎月分配型の米国の不動産投資信託（REIT）投信を購入。高分配投信に上手に投資すれば早期リタイアが可能かもしれないと判断し、海外でも同様の商品を探す。最終的に豪ドル建ての米ハイ・イールド債ファンドにも投資を始める。

■14年～

早期退職を秋に決意。分配金重視の投資が意外と順調なうえ、割増退職金を受け取れる点も決断を後押しした。今春に今の仕事を退職する予定だが、しばらくは嘱託で働くつもり。完全リタイアはもう少し先になりそうだ。